

わくわくの予感しかないと言いきってみる。

F「テーマは「友達」です。これはけっこう何度も特集しているんですよ。でも人気だからまたやっちゃいます！」

M「日和ったわね」

F「うっ」

T「や、やっぱり、ヤングアダルト世代には求められているテーマということなのではないでしょうか」

M「本も毎年たくさん出ているからね。そういうことにしといてあげましょう」

F「今回は、発行が進級・進学の時期なので、どんなきっかけで友達になることが多い?という話題から始めたいのですが」

M「一人で過ごすのもけっこういいものよ」

F「さっそく水差さないでください……」

T「学生なら同じ部活動に入った人と親しくなることが多いでしょうか。好きなものが似ている者同士……」

F「確かに。今も連絡をとっている友達は中学時代の部活動仲間ですね。話題はもはや部活動にまったく関係ないけれど」

T「趣味嗜好が似ているのって重要ですよ」

M「趣味といえばさー、大好きな F 様のライブに行くんだけど、他のファンの人たちと友達になりたいとは思わないんだよね。私と F 様だけでいい。そう、一人で十分」

F「話が終わっちゃうじゃないですか〜」

T「わ、私は大学の友達と今も連絡とっています。同じ学部の人と出会ったとき、こんなに好きなものがぴったり同じ人がいるんだ……!って驚きました」

F「(Tちゃんありがとう……!のまなざし) 同志がここにいた!みたいな」

T「そうなんです〜」

F「だんだん、たんに年齢が一緒っていう括りから、もう少し好きなものとか目指すものとかでの括りの中に入れていけるような気がしますね」

T「そうしたつながりって本当に楽しいです」

F「進級、進学ってそういった意味では楽しい予感をさせますね。わくわく」

M「一人を楽しむのも、友達同士を楽しむのも自由にできるようにするわよ〜」



←QR コードでも
アクセスできます

Instagram公開中 ここにアクセスしてね★

<https://www.instagram.com/hondarake55>

ホンダラケ

2023. 4.1

友達のわ・ワ・WA!

F「この紙面を読んだあなたは、私たちの友達です」

M&T「強引……!」

F「異論は認めません(キリッ)」

『カンフー&チキン』 小嶋陽太郎／著
ポプラ社 2022 年刊

F/ゴジ

塾の帰り道、竹人は、不良に絡まれて大ピンチ!そこに現れたのは、強い正義の味方……ではなく、クラスの変わり者・伊倉。気功術の使い手と言いながら不良たちにあっけなくやられてしまいます。不良とも伊倉とも、もう関わりたくないと思っていたのに。「とられたものをとり返さなくていいのか?」ふざけたような振る舞いながらどこまでも大真面目な伊倉。彼とチームを結成し、果ては巨悪に挑む大作戦に。単純な同調でなく、丁々発止のやりとりを繰り返し目標達成に向かう姿に痛快な友情を感じます。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「出会いと別れ」

春は、それぞれの未来に向かう季節。別れのその先にある出会いに幸あれ☆

『どこよりも遠い場所にいる君へ』

阿部暁子／著 集英社オレンジ文庫 2017年刊

ある秘密を抱え知り合いのいない環境を求めてある孤島の高校に進学した主人公は、孤島の「神隠しの入り江」と呼ばれる場所で倒れている少女を発見する。

入り江で少女がつぶやいた「1974年」という言葉を皮切りに主人公と少女の日々が動き出すタイムスリップ系ボーイ・ミーツ・ガールである。



F/アベ

P.N. 慧兎 (高校2年生)

新着図書 Pick Up

『10代からのメンタルケア

『みんなと違う』自分を大切にする方法』

本田秀夫／著 KADOKAWA 2023年刊



159.7/23

友達付き合いも、勉強も、部活動も何もかも上手くいっている人なんて本当にいるのかな？先生や親にいつも怒られてるのって、私だけ？ハブられないようにみんなに合わせてるけど、本当はね…。自分はみんなと違うのか、違ってもダメなことなのか、普通って何…とまあ10代は悩みだしたらキリがない。でもね、そんな時のココロの持って行き方があるんですよ。悩みすぎて疲れてしまう前に、読んでみてね。

「こんな本、棚から見つけました」のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介します

『自分を励ます英語名言101』

小池直己・佐藤誠司／著 岩波書店 2020年刊

ここで紹介されているのは、ただの名言ではありません。「英語名言」しかも英文法の解説付き。元気や勇気が出るように背中を押してくれる言葉とともに、名言を例に英文法を学べるのです。まさに一石二鳥。

ナポレオン、シェイクスピア、ガリレオ——彼らが残した言葉も英語で読んでみれば、いつもとは違った印象を与えてくれるかも。『行動のときは今だ。何かをするのに遅すぎることは決してない』（——サン＝テグジュペリ）のですから、なにか心に響く言葉とともに、一歩踏み出してみましょう。



830/20

難しいと思われているけれど、実は面白い名作があるから読んでみてほしいんです。

『走れメロス(朗読CD付)』

太宰治／著 海王社 2014年刊

友情といえばコレ！絶対教科書に載っているコレ！改めて読むと短いお話の間中ほぼパワー全開全力疾走のメロス。冒頭から怒り爆発した勢いで友を身代わりに差出し、あとは走る走る走る…。途中力尽きかけて、心の迷いと戦うところですらアツイですね。結末はみなさんご存じの通りですが、大人になって読むと、セリヌンティウスがお人好すぎるな、とか、そもそもそこまでの固い友情を築くことになったきっかけのエピソードが知りたいな、とか考えてしまうのは、こんな友情がうらやましいからかもしれませんね。



F/ダザ